

県遊技業協同組合に
県警が本部長感謝状

交通事故防止に貢献

秋から冬にかけて増加する薄暮時間帯の歩行者の交通事故防止に貢献したとして、県警は3日、県遊技業協同組合（井上静夫理事長）に本部長感謝状を贈った。

組合は2019年から、県内13店の店外大型モニタで、夜光反射材の着用を呼び掛ける啓発動画を上映してきた。場所は駅前や国道沿いで、交通量や人通りが多い。県内の昨年の交通事故死亡者数は24人で、統計の残る1948（昭和23）年以降最少だった。

山形市の県遊技業協同組合事務所で贈呈式が行われ、高橋信一交通部長から感謝状を受け取った井上理事長は「今後も交通事故防止に貢献していく」と話した。
（高橋直大）



感謝状を受け取る井上静夫理事長（山形市・県遊技業協同組合事務所）